

RECRUITING SITE



少しでも興味を持っていただいた方は、

ENEOS採用サイトをぜひチェックしてみてください。

若手社員のインタビューや座談会、動画による仕事や現場の紹介、

技術系・事務系それぞれのキャリアモデルなど、

多彩なコンテンツを用意しています。



ENEOS 採用 🔍

<https://www.eneos.co.jp/recruit/>



ENEOS HAYAYA WAKKARI



あなたの知らない

ENEOS

早わかり

ハンドブック

石油だけ
じゃない!

ENEOSが社会に果たす 使命と責任

ENEOSはガソリンスタンドの会社って思っていますか？
実は、エネルギー業界のリーディングカンパニーとして、
社会に対して大きな使命と責任を担っているんです。

02 地域と社会の 課題に応える → P.06

ライフステージに合わせて必要とされるサービスを、
トータルで提供するプラットフォームの構築を目指しています。



電気自動車 (EV) 普及への取り組み



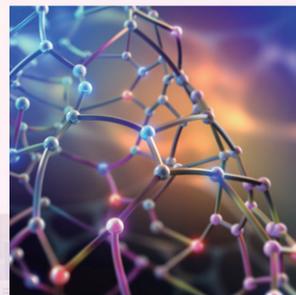
新車のサブスク



ENEOS Laundry

未来を牽引する 研究開発 → P.10

人と地球にやさしい、
次世代の製品や技術の
研究開発に取り組んでいます。



マテリアルズ・
インフォマティクスを
活用した新素材開発



水素キャリア製造技術
(Direct MCH[®])



エネルギー
マネジメント技術

01 サステナブルな 社会の実現 → P.04

日本のエネルギー転換をリードし、
カーボンニュートラル社会においても国内一次エネルギー供給における
メインプレイヤーとなることを目指しています。



水素サプライチェーンの構築



持続可能な
航空燃料の製造



エネルギー供給の
カーボンニュートラル

→ P.08 エネルギーの さらなる安定供給

日本を代表するエネルギー事業者として、
日々の暮らしの中の当たり前を支えるために、
エネルギーのさらなる安定供給を目指します。



製油所における
DXの取り組み

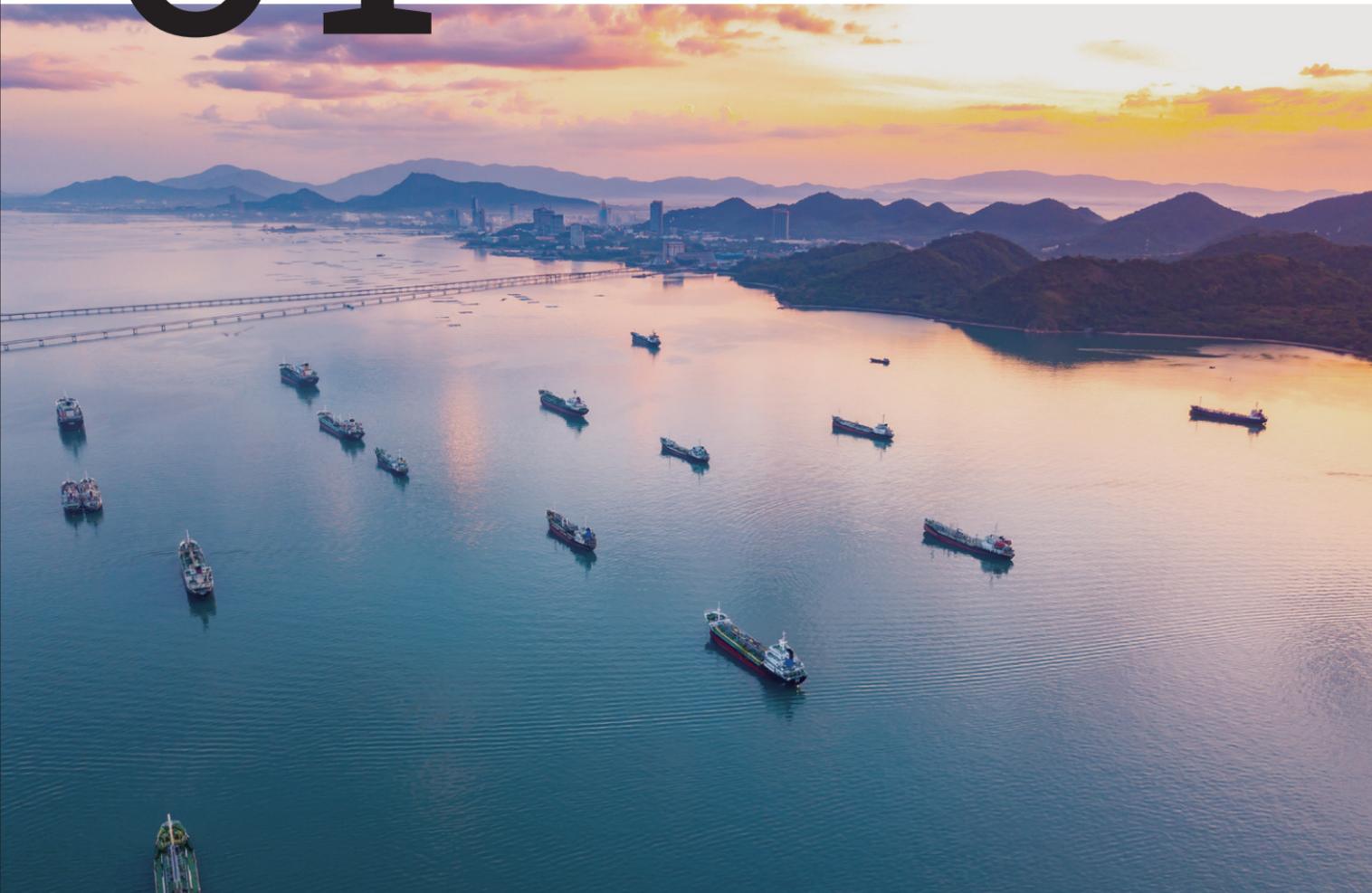


国内最大の
SS拠点数と販売シェア



サプライチェーン
全体の最適化

01



水素サプライチェーンの構築

2040年長期ビジョンで掲げる「脱炭素・循環型社会への貢献」の実現に向け、NEDOのグリーンイノベーション基金事業など国からの支援も活用しながら、CO₂フリー水素のサプライチェーン構築に取り組んでいます。

再エネ資源などが豊富な海外で、コスト競争力の高いCO₂フリー水素（グリーン水素・ブルー水素）を製造して日本へ輸送。国内の製油所近隣の発電所や製鉄所へ水素を供給することを目指して、現在、豪州や東南アジア、中東の複数プロジェクトで検証を始めています。また、水素は常温常圧で気体であるため、輸送には工夫が必要であり、その方法についても検証を進めています。

サステナブルな 社会の実現

持続可能な 航空燃料の製造

航空業界では、国際航空におけるカーボン・オフセットのために、持続可能な航空燃料（SAF）の導入が進められています。そこでENEOSは、SAFなどの次世代燃料の事業化に向けた検討を開始。製油所の製造・入出荷設備をSAF製造に活用するための調査を進めており、将来的には、年間約30万トンのSAFを製造できる国内最大規模のSAF商業プラント立ち上げを目指しています。



エネルギー供給の カーボンニュートラル

エネルギー供給のカーボンニュートラル化に向け、CO₂をほかの気体から分離して集めて貯留・圧入する技術「CCS」や、溜めたCO₂を利用する技術「CCUS」が近年、注目されています。

ENEOSは、国内CCSの事業化調査に取り組んでおり、カーボンニュートラルに積極的な事業者とも連携して、2030年に国内初の本格的なCCSを実装化することを目指しています。

02

地域と社会の課題に伝える

電気自動車(EV)普及への取り組み

使う人にも、社会にもやさしいエネルギーのカタチとして、電気自動車（EV）の充電サービス「ENEOS Charge Plus」を展開しています。ENEOS Charge Plusは基本料金無料、充電従量料金みのわかりやすい料金プランが特徴。簡単なタッチパネル操作、50kW出力の急速充電器にも対応しており、ストレスフリーで利用できます。現在、首都圏のENEOSサービスステーション（SS）を中心に、利用可能スポットも全国に拡大中です。充電事業以外にも、EVリース事業、カーシェア事業におけるEVの導入推進、EV向け蓄電池の交換サービスなど、EV普及に向けた取り組みを順次拡大中です。



新車のサブスク

価値観の多様化、働き方の多様化といった社会背景を受けて誕生したのが、「ENEOS新車のサブスク」。自動車本体は月額定額で、諸経費も込みのため、手軽にマイカーライフをスタートできます。若年層から、転勤が多い社会人、メンテナンスに不安がある高齢の方まで、自動車の「あったらいいな」に応えます。こうした新しいモビリティ文化を創造することも、ENEOSの使命の一つです。



ENEOS Laundry

日本全国に広がるENEOSのサービスステーション（SS）に併設する、気軽に利用できるセルフランドリーサービスです。SSにはスタッフが常駐している安心感があり、もちろん駐車場も完備。ついでに立ち寄れるランドリーとして、日々の暮らしに「ゆとり」を届ける事業です。今後もこうした暮らしに関わる事業を、ENEOSは数多く展開していきます。

03

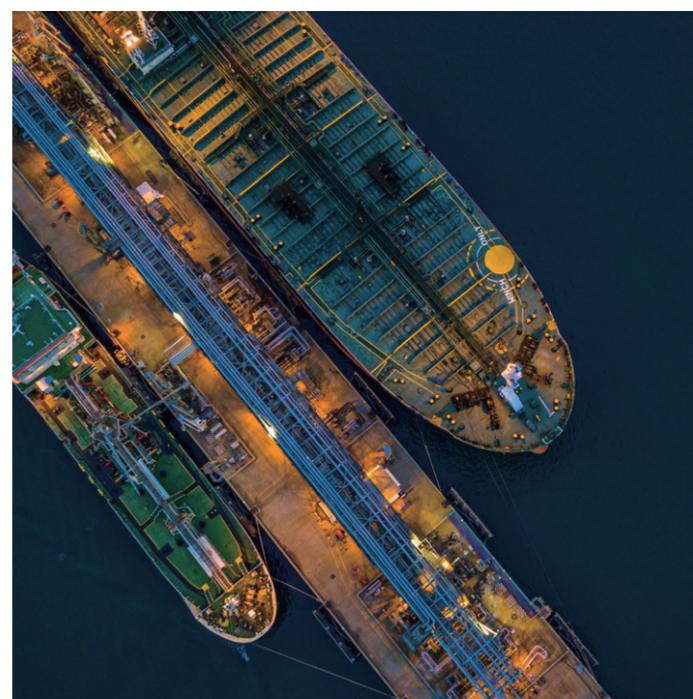


国内最大の SS拠点数と販売シェア

ENEOSが全国に展開するサービスステーション(SS)は、12,000箇所以上。約50%に及ぶ国内燃料油販売シェアを有しており、そのどちらも国内第1位です。世の中に大きな影響を与える事業を展開しているからこそ、そこに大きな使命と責任、そして大きなやりがいが生まれるのです。

サプライチェーン 全体の最適化

石油事業は、原産国からの調達から、輸送、製油所・製造所での精製と製造、タンクローリーでの配送、サービスステーション(SS)での販売という、長いサプライチェーンを有しています。このサプライチェーンの最適化も、エネルギーの安定供給に欠かすことのできないポイント。そこでENEOSでは、定型業務の機械化・自動化による業務効率の向上、部門間の情報共有やデータ活用の促進に取り組むことで、「確かな収益の礎の確立」を目指しています。



エネルギーの さらなる安定供給



製油所におけるDXの取り組み

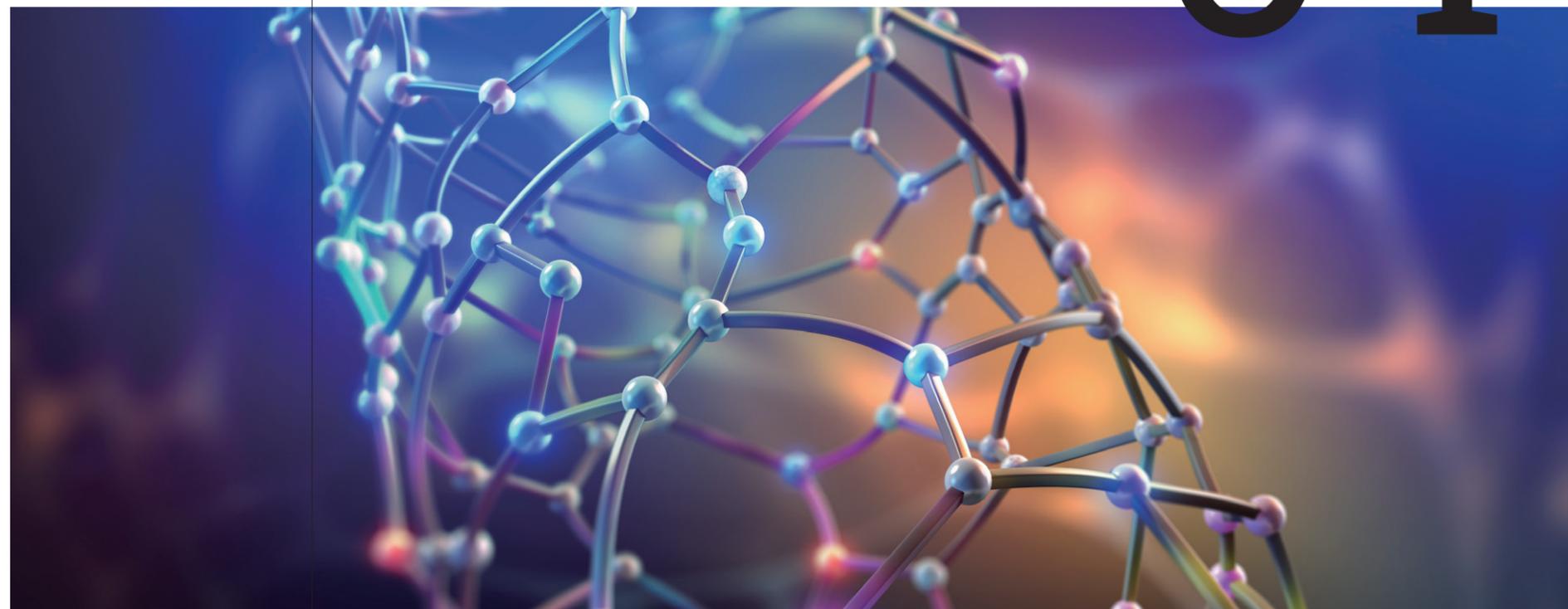
安定的にエネルギーを生みだし続けるためには、多くの工程と、多くの人の動きが必要です。また、エネルギーを生み出すことで発生するCO₂の量はまだまだ多く、持続可能な社会の実現に向けて、多くの課題を抱えています。こうした課題を解決する手段の一つが、製油所のDXです。スタートアップ企業への出資や他社とのオープンイノベーション推進による新規事業の創出を進める一方、確かな収益の礎を確立するため、AIを活用したプラント運転制御や、ドローンによる設備保全の高度化など、製油所稼働率の最大化に取り組んでいます。こうした取り組みが評価され、これまでに当社は「デジタルトランスフォーメーション銘柄(DX銘柄)」に3回選定されています。

未来を牽引する 研究開発

マテリアルズ・インフォマティクスを 活用した新素材開発

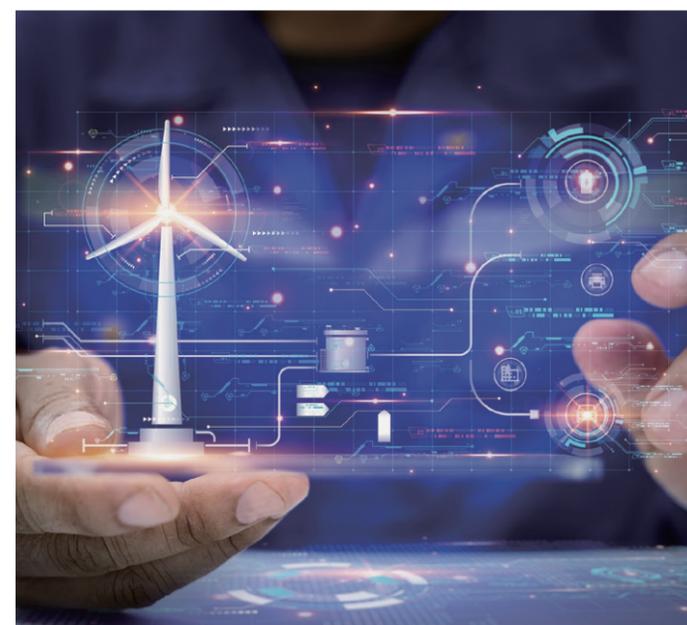
マテリアルズ・インフォマティクス（MI）とは、膨大な材料データをAI等で解析し、期待する性能が出そうな化学構造や組成を設計する手法。当社では、実験、シミュレーション、AIを融合させることで、再生可能エネルギー・触媒・機能材料・潤滑油等の分野で、革新的素材の発見・開発を目指しています。

その一貫としてPreferred Networks社と共同で、独自AI技術を用いた汎用原子レベルシミュレータMatlantis™を開発。圧倒的なスピードで分子や結晶等の構造、各種物性を計算できるようになり、従来より広範囲の新規素材の探索が可能となりました。



水素キャリア製造技術 (Direct MCH®)

輸送や長期貯蔵が難しい水素を、有機ハイドライド（MCH）の形で貯蔵・輸送する技術です。再エネ利用を拡大するには、「再エネ水素製造～MCH製造～輸送～脱水素～使用」という一連のプロセスを、いかに効率良く安価で行うかがポイント。そこで当社では、トルエンを直接電気化学反応させ、水素ガスを經由せずに水とトルエンからMCHを一段階で製造するDirect MCH®の研究に着手。社会実装に向けて、電解槽の大型化やプロセス開発を進めています。



エネルギー マネジメント技術

当社は電力事業、水素事業を営んでおり、多くの発電・蓄電設備や水素製造設備を保有しています。これらの設備を最適なタイミングで運用すれば、再エネの普及に大きく貢献できるはず。そこで注目されているのが、各地に点在する発電機器や蓄電池などをまとめて制御することで、巨大な発電所のようにみだる「Virtual Power Plant (VPP)」。当社では、水素や電力事業において独自のエネルギーマネジメント技術の開発に取り組み、正確な予測に基づいた運用計画の立案を実現。様々な事業での活用を進めています。

新入社員に聞く / ENEOSで実現したいこと

大きな使命と責任を伴うENEOSの仕事。
ここでは、みなさんの先輩にあたる新入社員たちは、
どのような意気込みをもってENEOSを志したのかを聞きました。

現場で得た知識を活かし 新エネルギー事業の一翼を担う

まずは、自分の担当装置を通じて一人前のエンジニアになることを目標としています。製油所の現場でしか得られない知識は多いので、チームの先輩方について現場に同行し、知識の定着と装置の理解に努めています。将来的には、製油所で得た装置や現場の知識を生かして、興味のある新エネルギー事業に携わりたいと考えています。

製造部門 / 工学研究科修士



多くの経験や 知識を糧に幅広く 頼られる存在に

現在は研究開発部ですが、将来的には販売や企画など幅広い業務を担当したいと思っています。お客さまや社内の難しい要望にも対応できるよう、多くの経験や知識を得て、様々な立場から物事を捉えることができるようになりたいと考えています。そうして活躍できる幅を広げることで、仕事のやりがいや楽しさをより感じられると思っています。

潤滑油部門 / 理工学研究科修士



「自分事」として 社会に対する責任を果たす



直近の目標は「早く自分の力でできる仕事を増やしていくこと」です。そのために、ただ目の前の仕事をこなすだけでなく、その仕事の背景までしっかり理解し、日々の業務に取り組むことを意識しています。そして何年後かには、当社の社会に対する責任を「自分事」のように捉えられる人になりたいです。

管理部門 / 法学部卒業

時代に合わせた クリーンエネルギーの 事業化を目指す

短期的には水素ステーションの新設に向けたプロジェクトの企画・進行管理を、チームリーダーとして進めることが目標です。長期的な目標は、クリーンエネルギーの需要増加を見据えて、水素ステーションを当社のSSに並ぶプラットフォームとして確立させ、クリーンエネルギー供給の事業化を実現したいと考えています。

新エネルギー部門 / 国際社会科学部卒業



新規事業を軌道に乗せ、 さらなる事業の柱を作る



当部門の新規事業はまだ軌道に乗る途中なので、まずはグループのカーリース事業の黒字化を達成したいです。その経験を生かして新エネルギーの開発・推進にも携わりたいですね。また、SSの拠点を生かした新規事業や新エネルギー等の新たな収益の獲得に貢献し、石油以外の大きな収益の柱を作りたいと考えています。

販売部門 / 工学部卒業

エネルギーの安定供給を通して 社会を支える

産業燃料の安定供給に努めたいです。ENEOSが手がける商材・新規プロジェクトは多岐にわたりますが、それらは「既存のエネルギーの安定供給」を実現して、はじめて成り立つものが多いです。既存エネルギー、燃料油の提供を通して、人々の生活を支える使命の一端を担っている意識を持ちながら、現在の業務に取り組んでいきたいです。

販売部門 / 経済学部卒業



ENEOSでしかできない 脱炭素社会に向けた新事業に挑戦

まずは配属された仙台製油所で、運転管理等の知識や経験を積み、与えられた仕事に対し責任を持って取り組みたいです。一方で、幅広い分野の仕事に関わり、多方面で社会に貢献したいとも考えています。業界トップであるという責任感とダイナミズムを感じながら、脱炭素社会に向けた取り組みや、新規事業にもチャレンジしたいですね。

製造部門 / 先進理工学研究科修士



豊かな環境づくりのために、 変化をもたらせる人に



販売担当の方と協力しながら、エネルギーの安定供給とSSアプリの普及促進を担当しています。エネルギーについて一人でも多くの人が自分事として捉え、ともに新しい形を作ることで、後世の人々に豊かな環境を残したいと考えています。そのために、国内外問わず様々な部署で経験を積み、視野を広げることで、変化を起こせる人になることがいまの目標です。

販売部門 / 商学部卒業



AIを活用した 解析手法で触媒探索の 加速に貢献

膨大な材料データをAIで解析し、化学構造や組成を設計する手法であるマテリアルズ・インフォマティクス (MI) の推進を目指しています。MI推進は他グループとの連携も多く、幅広い視点を培うために勉強の毎日。この経験を活かして将来的には、実験とMIの両面から材料探索の提案をできるように、「今日の当たり前」を支え、「明日の当たり前」をリードする一助になりたいと思っています。

研究開発部門 / 理工学研究科修士



持続可能な 航空燃料の安定供給で 航空業界に変革を

年々脱炭素化への関心が高まり、世界的にCO₂の排出が懸念されています。中でも航空業界は航空燃料規制の観点から強い逆風にさらされています。多くの企業・国が思案する中で、私は非可食部原料を用いたSAF (Sustainable Aviation Fuel) の安定供給によって、その課題を解決したいと考えています。将来的には、ENEOSから供給された100%のSAFで、航空機を空に飛ばしたいです。

製造部門 / 物質理工学院修士

世界中の エネルギーを支える グローバル人材へ

日本に限らず、世界中のエネルギーの安定供給を実現していきたいです。未だかつてない転換期を迎えているエネルギー業界で大きな影響力を持つENEOSだからこそ、世界のエネルギー問題に立ち向かう力を持っていると思います。その基盤事業である石油事業への貢献はもちろん、あらゆるエネルギーの発展を支えられる、グローバル人材として尽力していきたいですね。

供給部門 / 経済学部卒業

人事施策・研修制度について

いきいき人事施策

柔軟な働き方を実現するために

ノンコアフレックスタイム制度

標準労働時間は7時間半。コアタイムがないため、就業時間を個人の裁量によって決めることができます。

年次有給休暇

有休取得率は90%。半日単位での取得も可能です。

配偶者転勤同行チャレンジ制度

配偶者の国内転勤に同行を希望する場合に、特定地域への異動希望を会社に伝えることができます。

在宅勤務制度(テレワーク)

勤続年数・事由を問わず、テレワークにて従事可能な環境がある社員はテレワーク勤務ができます。

配偶者転勤同行休職(退職)制度

配偶者の転勤に同行を希望する社員は、5年間で限度として休職(退職)の後、復職することができます。

転勤猶予カード制度

会社が認める範囲で「転居を伴う異動」を猶予する仕組みを導入しています。

育児・介護と仕事の両立支援

短時間勤務制度

育児・介護等の適用要件を満たした場合、希望者には所定の就業時間を短縮した短時間勤務を認めています。

育児休業

以下の制度を設け、社員が安心して子育てに取り組める職場環境づくりを進めています。また、性別を問わず、育児休業の全員取得に向けた取り組みも行っています。

産前・産後休暇	産前6週(多胎妊娠の場合は14週間)、産後8週
育児休業	子が満2歳に達するまで
育児休暇	年3日以内(3歳までの子を養育する社員に限る)
子の看護休暇	年5日以内(小学校3年生までの子を養育する社員に限る)
短時間勤務	妊娠中または子が小学校6年生を修了するまで選択可能

事業所内保育所の導入

社員が子を養育するにあたり、認可保育所^(※)等に加えて、事業所内保育所も利用・選択できるようにし、育児と仕事の両立を積極的に支援します。

(※) 児童福祉法に基づき都道府県知事が認可した施設を指す。

介護休業制度

家族の事情等により介護を行う必要のある社員は、対象家族1人につき通算730日まで取得可能です。

介護休暇制度

要介護状態にある対象家族の介護を行うとき、対象家族の人数に関わらず年間で通算10日取得可能。

特別休暇

冠婚葬祭、子どもの看護などのライフイベント時には特別休暇が付与されます。

ENEOSでは、多様な人材が活躍できる環境を整えるために、様々な施策を展開。誰もが働きやすく、一人ひとりが力を発揮し成長していける職場を目指しています。

研修制度

新入社員教育

新入社員研修

全職種共通の集合研修です。ビジネスマナーや社内制度など各種講義を行います。全体向けの集合研修後、それぞれの部署に配属となります。

OJT制度

1年間、先輩社員1名が伴走し、新入社員の成長をサポートします。実務を通して、仕事に必要な知識や技能、社会人としてのマナーなどを1対1で指導します。

語学研修

GBS(Global Business Skill Program)

入社4年目以降の社員を対象とした3~4週間の海外派遣研修です。アジア各国に派遣し、課題解決プロジェクトワークや企業訪問などを行っています。

GLP(Global Language Program)

国内の語学学校およびeラーニング/オンラインにて、英語・中国語を中心に語学習得する機会を会社が支援します。

TOEIC受験

年2回、社内にてTOEIC受験の機会を提供しています。

多様な社員が活躍できる環境を整備

当社の女性活躍推進に対する各種表彰

当社の女性活躍推進の取り組みが評価され、令和2年10月、女性活躍推進法に基づく基準適合事業主として、厚生労働大臣より「えるぼし」の最高位認定(3段階目)を受けました。また、経済産業省と東京証券取引所から、令和2年度「なでしこ銘柄」にも選定されました。



PRIDE ゴールド認定を取得

「PRIDE 指標」は、任意団体「work with Pride」が策定する、企業・団体などにおけるLGBTQなどの性的マイノリティへの取り組みに対する評価指標です。当社は、性的マイノリティのインクルージョンに関する取り組みが評価され、2020年度から3年度連続、最高評価「ゴールド」を受賞しています。出典：work with Pride PRIDE 指標



2022年度の「PRIDE指標2022」にて認定

The Valuable 500に加盟

障がい者の活躍支援に取り組む国際イニシアチブ「The Valuable 500」に賛同し、障がい者のインクルージョンを促進するためのアクションをグローバルに公表しています。当社では、障がい者本人の職場適応支援、全従業員への障がいに関する理解醸成、障がい者スポーツの振興・発展に向けた取り組み等を実施しています。

